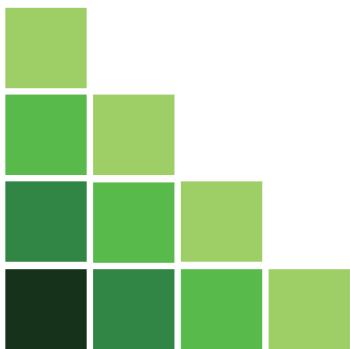




# 川柳のススメ



加藤 美浩

# 川柳のススメ

----センリュウハ

七ノ上ニ五ヲ造リ

七ノ下ニ五ヲ造ル----

加藤 美浩

## はじめに

二〇一〇年一月に「まちづくりのススメ」を出版しました。自分のまちづくりへの想いを「本」という形にまとめたくて一〇〇冊程を作りました。これは、自費出版のお決まりどおり、知人友人に押し売り？をしてしまったのですが、地元紙で紹介されたり講演の機会などをいただいたこともあって、結局三〇〇冊の増刷となりましたが、いろいろな人に迷惑をかけてしまったようにも思います。

だったら、もうやめればいいのに……。でもまた出版しちゃいました。押し売られ？る方、ごめんなさい。でも、川柳を正式に学んでいない私でも、こんなに川柳を楽しんでいることや、皆さんにもっと気軽に川柳を楽しんでほしいことをお伝えしたくて、「やっぱり本にしよう！」と思つた次第です。

そうと決めたら、あとは「ノリ」の世界。前の本のタイトルが「まちづくりのススメ」、サブタイトルは、「マチヅクリハ、人ノ上ニ人ヲ造ラズ、人ノ下ニ人ヲ造ラズ」だったから、当然今回は「川柳のススメ」に。でもサブタイトルはどうしよう……。「センリュウハ、七ノ上ニ五ヲ造リ、七ノ下ニ五ヲ造ル」。ここまでいくと、もう意味なんかありません。でも、なんか楽しそうでしょ？それでいいんじゃないかと思うのです。

私が川柳を始めたのは、皆さんご存知の「第一生命 サラリーマン川柳」です。「楽しそう」「これならできそう」と思い応募したところ、全国第四十一位をいただきました。二〇〇四年のことです。以後、インターネットなどで企業が募集している川柳コンクールなどに応募するようになりました。年に一〇〇句以上は作っています。応募するのは、「賞品がもらえる」ものばかりです。そうなんです。私の川柳は、懸賞応募のための川柳なのです。新聞などに投稿されたり、あるいは句会などで集まって川柳を詠まれたりする方々（正統派というのでしょうか？）とは違うのです。川柳は俳句などに比べて制約が少なく自由な表現と言われますが、そんなレベルでもない、本当の我流なのです。でもそれが楽しいし、時には入賞して賞品もいただける。それでいいんじゃないかと思うのです。

お読みいただくとわかると思いますが、入選している作品はそんなに多くありません。そうそう入選なんかしませんものね。でも、自分としては気に入っている作品がいっぱいあります。この本はそんなお気に入りの作品に、その想いやエピソードを添えて、一句一ページにまとめ、「まちづくりのススメ」と同じような作りにしました。作品の数は八十八。なんとなく。

まあ、むずかしい話は抜きにして、とにかく読んでください。そして、「これなら自分もできそう！」と思ってください。あまり上手じゃない川柳仲間がひとりでも増えることを願ってやみません。

## 目次

Salary man is ...	ああ、サラリーマン . . .	4
Wife is ...	妻に捧げる . . .	16
Family is ...	それでも家族 . . .	24
Society is ...	社会を見てみれば . . .	32
Eating and Drinking is ...	食へすぎ、飲みすぎに . . .	46
Love is ...	男と女のあいだには . . .	56
Life is ...	にんげんだもの . . .	68
There is ...	あんなこと、こんなこと . . .	78

Salary man is ...

ああ、サラリーマン・・・

# 仕分け人

妻に比べりゃ

まだ甘い

2009

第一生命「第23回サラリーマン川柳」

全国100選 第1位

二〇〇九年の大きな話題のひとつに「事業仕分け」がありました。その政策の内容もさることながら、あの某女性議員の雰囲気がなんともインパクトのあるものでした。その姿と妻とを比較してみたら・・・なんていうイメージをこんな句にしてみました。

事業仕分けが行われることで国の財政は少しは良くなるかもしれないけれど、我が家の仕分けはエンドレスのような気がします。ある意味、国の仕分けよりもキビシイわけで・・・。そんな持つて行き場のない思いみたいなものに共感いただいたのか、サラリーマン川柳一〇〇選発表時に新聞やテレビでもとりあげられ、そのせいもあつてか、投票で第一位をいただきました。本当にうれしく思います。

あつ、ちなみにウチの妻は、厳しい仕分けはしません。本当です・・・。

続きは  
完成版で  
お楽しみ下さい。